

# クローバーつうしん

CLOVER TIMES



2021年10月1日 第54号

公益財団法人 金森和心会

クローバー子供図書館 / 発行

〒963-8851 郡山市開成6-346-1

TEL/FAX 024-932-2118

<http://www.k-washinkai.or.jp/clover/clover.html>

## 「絵本が伝えてくれる『繋ぐチカラ』」

医療法人仁寿会 菊池医院

絵本専門士・認定病児保育専門士・プレリーダー

田中 雄人

この度はクローバーつうしんの執筆に携わらせていただいたこと非常に嬉しく思います。ありがとうございます。

私は本町にある菊池医院に所属しており、院内では認定病児保育専門士の視点から育児支援のご相談や令和元年に取得した絵本専門士として外来待合室・ホールにておはなし会や健診時のブックファースト・保護者に向けて絵本のプレゼン・レクチャーをしています。院外では読み聞かせ団体や子育てサークル・保育士・幼稚園先生に向けて、絵本を意識した関わり方などについて、研修講座を行ったり様々な方々や地域の方々に向け、おはなし会のイベントを実施したり、人と人の関わり・繋がりにおいて、絵本の重要性、魅力、読み聞かせのコツや読み手が選ぶ選書についてなどを伝えていきます。

私とクローバー子供図書館との出会いは当院に勤めてからになります。最初の当院との関わりは歴史やドーム型の図書館、味わいのある秘密基地感溢れた館内に衝撃を受けたのを覚えております。

平成五年、当院入院病棟に「クローバー子供図書館」分室が置かれ、二〇〇冊の本が定期的に交換していただけるようになっていました。子どもの入院は家庭とは全く違った環境の生活が始まります。お母さん達が側で本を読んであげる、子どもたちが自分で読む、そして想像を豊かにして親子の会話が広がって行く。そうした心と会話の連鎖が現在の生活環境で希薄化して来ているのではと医院の方針にて当時の病室、現在の待合室にもテレビは設置されていません。

入院病棟はなくなりましたが、現在でもクローバー子供図書館から四期ごとに雑誌・絵本を六十冊から七十冊ほどお借りしております。借りた本は二階に場所を設置し、読むことができる場所を提供しています。私自身、毎回大量にお借りできることを楽しみにしており、知らなかつた絵本を数々知ることができ、刺激と学びを得ることができています。保護者の方々も絶妙な選書に喜びを感じているようです。

絵本には『人と人・親と子・時と場所・過去と未来』の四つの繋ぎのチカラがあると信じています。院長菊池信太郎先生と出会うキッカケになったのも菊池医院にて絵本に関わる活動ができ、こうしてクローバー子供図書館と縁ができたことも絵本が繋げてくれたと思っています。

私たちは同世代・次の世代の方々にとってキッカケとなる種を植え続けていかなければなりません。その種の花を咲かせるのは周りの環境です。どんな肥料で、気候や日光、水の与え方で育ち方やどんな花が咲くか、どんな芽が息吹くかわかりません。最低でも絵本専門士という立場からも絵本・おはなし会・講座を通してキッカケの種を植え続けていきたいです。それと同時に昔から愛されている「いないいないばあ」「ぐりとぐら」などの絵本を受け継いでいかなければいけないと感じています。

今回、原稿依頼を受け、改めて、絵本の魅力や絵本専門士、小児科勤務の立場から読書力向上についての意識、クローバー子供図書館が地域に与える意義について考えることができました。このような機会を与えてくださった関係者の皆様、心より感謝いたします。



「松谷みよ子  
あかちゃんの本  
いない いない ばあ」  
松谷みよ子/文  
瀬川康男/画



「ぐりとぐら」  
なかがわりえこ  
とおおむらゆりこ  
福音館書店



## イベントのお知らせ



### ※読書週間



「おすすめの本の貸出」

10月27日(水)～11月9日(火)



### ※「本のリクエストポスト」

12月7日(火)～12月18日(土)



### ※「クリスマスしおりプレゼント」

12月14日(火)～12月24日(金)

## 夏休みに読んで おもしろかった本

あずはた ゆいさん 開成小2年

わたしは、「おにぎりがしま」が大スキです。かわいいおにぎり、おにがつくるおいしそうなおにぎりをわたしもたべてみたいです。やっぱり、みんなでたべるからおいしいのかな。



「おにぎりがしま」  
やぎたみこ  
ブロンズ新社



## オリンピック パラリンピック おうえんメッセージ

7/17～9/4の期間中に、73名の来館者(大人も含む)のみなさんにひまわりの用紙に  
おうえんメッセージを記入し添付してもらいました。  
始まるまでは不安もありましたが、ビクトリーブーケ  
と同じようにクローバーの壁面もたくさんの  
ひまわりで明るくなりました。



「11ぴきのねこ  
ふくろのなか」  
馬場のぼる  
こぐま社

## 夏休みに読んで おもしろかった本

たけうち みつきさん 5才

わたしは、「11ぴきのねこふくろのなか」で、はなをとるな、はしをわたるな、ふくろのなかにはいるな、といわれていてもはなをとったり、ふくろのなかにはいってしまう11ぴきのねこがおもしろかったです。



## 「息子との絵本タイム」

桑原 瞳

私の母は幼稚園教諭をしており、幼い頃から家にはいつもたくさん絵本がありました。息子が産まれ、自然と寝かしつけ時に絵本を読む事が日課になり、0歳児からほぼ毎日続けています。

そのうち文章に興味を持ち、三歳になるといつのまにか平仮名の読み書きができるようになっていました。

四歳半になった今、カタカナをマスターして漢字に興味を持っていて驚きです。

お互いに感じた事を話し合えるのも読み聞かせの良い所だと思います。

もう寝ようと言うと、あと一冊見たい！という毎回のやりとり。私のほうが眠くなりあくびをしながら読んでいますが、大きくなったらこの時間も無くなってしまおうのか...と思うと、今から寂しい気持ちでいっぱいです。



## 寄贈御礼

郡山市  
渡辺美智子様  
「どこでおひるね  
しようかな」  
他5冊



## 開館日のご案内

火・水・木・金・  
土(第1・3・5)

月末は休館します。

※詳細はホームページで  
ご確認ください。

## 編集後記

毎年頂くひまわりの種から今年もサンサンと太陽をあびて、元気な花が咲きました。ミニひまわりなので背丈はあまりありませんが、虫に葉が食べられてもお盆の頃の涼しさにも耐えて競うように咲き来館者を楽しませてくれました。そのひまわりに誘われて図書館のウッドデッキに今まで見たことのないお腹に赤ちやんがいる猫が現れました。ゆっくり休み気持ちよさそうでした。また親子で来て下さいね。

